



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 丸建リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <https://www.maruken-lease.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井ノ上 雅弘
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 新井 祐宏 TEL 03(5404)8200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,539	△2.4	560	19.4	556	21.2	345	12.1
2026年3月期第1四半期	6,697	19.9	469	19.8	459	9.7	307	5.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 433百万円(111.2%) 2026年3月期第1四半期 205百万円(△39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	36.25	—
2026年3月期第1四半期	32.33	—

(注) 1 前第4四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	41,908	18,896	43.4
2026年3月期	40,842	18,798	44.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 18,208百万円 2026年3月期 18,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	73.00	—	87.00	160.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2027年3月期(予想)については、株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2027年3月期(予想)の年間配当金は162円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	3.9	1,600	12.1	2,000	3.6	1,400	2.9	147.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 有限会社大地リース、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	10,288,320株	2026年3月期	10,288,320株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	770,851株	2026年3月期	770,805株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	9,517,503株	2026年3月期1Q	9,518,429株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

前第4四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調を続けました。一方、海外においては、中東情勢を起因とした原油価格の高止まりや、為替変動リスク等により、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況となっております。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移している一方で、人手不足に伴う労務費の上昇や資機材の調達費用の増大など、引き続きコスト面での課題が継続しております。

このような環境下、当社グループの国内事業は概ね堅調に推移いたしましたが、海外事業につきましては、タイおよび中国における消費低迷等による景気回復の遅れにより、厳しい事業環境が続いております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は65億39百万円（前年同期比1億58百万円、2.4%減）、営業利益は5億60百万円（同91百万円、19.4%増）、経常利益は5億56百万円（同97百万円、21.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億45百万円（同37百万円、12.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

① 重仮設事業

賃貸稼働は堅調に推移したものの、販売案件の進捗が想定を下回り、売上高は45億97百万円（前年同期比5億87百万円、11.3%減）、セグメント利益も4億94百万円（同1億28百万円、20.6%減）となりました。

② 重仮設等工事業

竹本基礎工事(株)の業績の寄与があり、売上高は15億34百万円（同3億87百万円、33.7%増）、セグメント利益は2億58百万円（同2億34百万円増）となりました。

③ 土木・上下水道施設工事等事業

受注案件は順調に進捗したものの、一時的な費用増加等の影響により、売上高は4億7百万円（同41百万円、11.5%増）、セグメント利益は1百万円（同16百万円減）となりました。

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比10億65百万円増の419億8百万円となりました。有形固定資産の増加額3億89百万円、のれんの増加額8億72百万円、建設機材の減少額4億30百万円などによるものです。

負債合計は、前期末比9億67百万円増の230億11百万円となりました。借入金の増加額35億74百万円、電子記録債務の減少額16億75百万円、買掛金の減少額13億99百万円などによるものです。

純資産合計は、前期末比98百万円増の188億96百万円となりました。配当金の支払による減少額2億76百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益3億45百万円の計上などによります。この結果、自己資本比率は1.0ポイント減の43.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2026年5月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,644	1,798
受取手形、売掛金及び契約資産	5,245	5,927
電子記録債権	2,461	1,594
建設機材	13,075	12,644
商品	638	802
仕掛品	532	369
材料貯蔵品	270	270
未成工事支出金	78	71
その他	399	647
貸倒引当金	△37	△36
流動資産合計	24,309	24,091
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,088	8,088
その他（純額）	1,205	1,594
有形固定資産合計	9,293	9,683
無形固定資産		
のれん	1,058	1,931
顧客関連資産	446	437
その他	73	68
無形固定資産合計	1,578	2,437
投資その他の資産		
投資有価証券	5,342	5,317
退職給付に係る資産	180	229
その他	150	160
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	5,661	5,695
固定資産合計	16,533	17,816
資産合計	40,842	41,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,761	3,362
電子記録債務	2,808	1,132
短期借入金	3,641	6,232
1年内返済予定の長期借入金	2,444	2,895
未払法人税等	413	360
契約負債	1,301	1,531
賞与引当金	372	531
その他の引当金	40	37
その他	1,617	1,654
流動負債合計	17,401	17,739
固定負債		
長期借入金	3,178	3,710
退職給付に係る負債	42	42
その他	1,422	1,518
固定負債合計	4,643	5,272
負債合計	22,044	23,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	11,642	11,634
自己株式	△439	△439
株主資本合計	14,778	14,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	974	1,019
土地再評価差額金	1,947	1,947
為替換算調整勘定	489	509
退職給付に係る調整累計額	△63	△38
その他の包括利益累計額合計	3,347	3,437
非支配株主持分	671	688
純資産合計	18,798	18,896
負債純資産合計	40,842	41,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,697	6,539
売上原価	5,491	5,175
売上総利益	1,206	1,363
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	306	342
福利厚生費	79	95
地代家賃	45	48
退職給付費用	7	7
貸倒引当金繰入額	7	0
賞与引当金繰入額	122	103
その他	167	204
販売費及び一般管理費合計	736	802
営業利益	469	560
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	22	26
その他	17	28
営業外収益合計	40	57
営業外費用		
支払利息	17	31
持分法による投資損失	27	27
その他	5	2
営業外費用合計	50	61
経常利益	459	556
税金等調整前四半期純利益	459	556
法人税、住民税及び事業税	218	235
法人税等調整額	△53	△22
法人税等合計	164	213
四半期純利益	294	343
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△12	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	307	345

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	294	343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	44
退職給付に係る調整額	△0	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	21
その他の包括利益合計	△89	90
四半期包括利益	205	433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251	414
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設等工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,427	—	158	4,586	—	4,586
一定の期間にわたり移転 される財	757	1,147	206	2,111	—	2,111
顧客との契約から生じる 収益	5,184	1,147	365	6,697	—	6,697
外部顧客への売上高	5,184	1,147	365	6,697	—	6,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,184	1,147	365	6,697	—	6,697
セグメント利益	623	23	17	664	△195	469

(注) 1 セグメント利益の調整額△195百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前第4四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設等工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	3,791	—	190	3,981	—	3,981
一定の期間にわたり移転 される財	805	1,534	216	2,557	—	2,557
顧客との契約から生じる 収益	4,597	1,534	407	6,539	—	6,539
外部顧客への売上高	4,597	1,534	407	6,539	—	6,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,597	1,534	407	6,539	—	6,539
セグメント利益	494	258	1	755	△194	560

(注) 1 セグメント利益の調整額△194百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	66百万円	70百万円
のれんの償却額	2 "	18 "

(注)前第4四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。